

デジタルシネマ技術の現状と今後の展開

慶応義塾大学 太田 直久

開催日：平成18年11月13日（月曜日）14:00～17:00

開催場所：東北大学電気情報系2号館 2階 204室

デジタル信号処理，高速ネットワーク，VLSI 技術の発展により，35mm 映画フィルムに匹敵する品質の映像がデジタル化される時代となっている。本講演では，日本におけるデジタルシネマ技術の現状，その技術をベースとした新たなアプリケーションの状況，世界を見た今後の展開に関して展望した。

The Longitudinal Movement of the Arterial Wall - An Overlooked Phenomenon -

Lund University, Research Assistant, Magnus Per Axel Cinthio

開催日：平成19年3月7日（水）13:30～15:00

開催場所：東北大学工学部 電子情報システム・応物系1号館

451・453 会議室

心臓血管系に関する研究では，心拍による血管壁の径方向の動きおよび径の変化が主なターゲットであった。血管の径方向の動きの計測は，心臓血管系に関する研究における確立されたツールとなっている。一方，動脈壁の長軸方向の動きに関しては，径の変化に比べ十分に小さいとされ，これまであまり注目されていなかった。本講演では，最近開発した超音波を用いて動脈壁の長軸方向の変位を計測できる手法，およびそれを用いて血管壁のずりひずみおよび血管軸方向への伸縮を評価できる手法が紹介され，それらの *in vivo* 計測における最新の研究成果が示された。